

# ふくおか & MAFF

2020.11  
vol.18

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

## Contents

- スマート農業実証プロジェクトの紹介  
～ふくおか遠藤農産スマート農業実証コンソーシアム～
- 高収益作物次期作支援交付金の運用見直しについて
- 米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針
- 令和3年の収入保険の加入申請は12月末までです

大豆収穫（小郡市）

## スマート農業実証プロジェクトの紹介

～ふくおか遠藤農産スマート農業実証コンソーシアム～

### プロジェクトの概要

#### 《 実証グループ名 》

「ふくおか遠藤農産スマート農業実証コンソーシアム」

#### 《 実証代表者 》

遠藤 幸男（株式会社 遠藤農産）



#### 《 実証課題名 》

「麦・大豆の品質向上と既存機械やシェアリングを活用した土地利用型大規模経営での実践型スマート農業技術体系の実証」

現地見学会が開催されました

プロジェクトのアウトソーシング活動の一環として実施されました。約75名が見学し、**実証圃場において、スマート農業機械の実演が行われました。**

有人監視、無人運転によるロボットトラクタでの耕起作業



自動操舵システムによる麦の播種、転圧作業



### 実証課題と実証目的

#### 《 実証課題 》

麦・大豆の品質向上と既存機械やシェアリングを活用した土地利用型大規模経営での実践型スマート農業技術体系の実証

#### 《 実証目的 》

・最新のスマート農機と既存機械を活用した低コストで実現可能な一貫作業体系の構築と労働力の省力化を図ることによる、条件不利地での作業体系の確立と普及促進。

・共同利用可能なスマート農業機械（汎用コンバイン・ドローン）のシェアリングによるコスト低減効果を実証。



#### スマート農業実証プロジェクト

スマート農業の社会実装を図るため、先端技術を実際の生産現場に導入して2年間にわたって技術実証を行うとともに、技術の導入による経営への効果を明らかにする事業

### 今後の予定

#### ① スマート農業機械の実証

無人ロボットトラクタによる麦播種  
ロボットコンバインによる大豆収穫

#### ② スマート農業機械のシェアリング

ロボットコンバインによる大豆収穫  
ドローンによる小麦赤カビ病の防除

「スマート農業実証プロジェクト」について（農林水産省HP）

[http://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart\\_agri\\_pro/smart\\_agri\\_pro.htm](http://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/smart_agri_pro.htm)



## 高収益作物次期作支援交付金の運用見直しについて

高収益作物次期作支援交付金の運用見直しに関する追加措置が講じられました。

《 対象者 》 運用見直しにより交付予定額が減額又はゼロとなった農家であって、10月30日以前に、次期作に向けて、新たに機械・施設を整備したり、資材等を購入又は発注した方

《 対象経費 》 ① 機械・施設の取得費（定額）  
② ①以外（資材等）の取組の掛かり増し経費（定額）  
※ ただし、補助額は、運用見直し前の交付予定額が上限（交付額が減額となった場合は、その減額分が上限）



### 相談窓口連絡先（九州農政局）

園芸特産課（直通）  
096-300-6253, 096-300-6249  
企画調整室（直通）  
096-300-6006, 096-300-6007



農家の皆様、事業実施主体の皆様にご迷惑を生じさせておりますことを改めてお詫び申し上げます。

高収益次期作支援交付金について（農林水産省HP）  
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/jikisaku.html>

## 米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針

令和3/4年  
(令和3年7月～令和4年6月)  
の主食用米等の需給見通し



(単位：万トン)

令和3年6月末 民間在庫量	A	207~212
令和3年産 主食用米等生産量	B	693
令和3/4年 主食用米等供給量計	C=A+B	900~905
令和3/4年 主食用米等需要量	D	705
令和4年6月末 民間在庫量	E=C-D	195~200

農林水産省は令和3年産の主食用米等の需給見通しを盛り込んだ「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を公表しました。

《 令和3年産主食用米等生産量 》  
令和3/4年主食用米等の需要量は705万トンと見通されることから、生産量の見通しは693万トンと設定しています。

農林水産省は、米政策改革の定着に向け、戦略作物の本作化等による水田のフル活用を支援します。



米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針  
(農林水産省HP)  
[https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku\\_sisin/](https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/)

## 令和3年の収入保険の加入申請は12月末までです

現在、令和3年の収入保険の加入申請を受付中です。

加入申請の期限は、個人経営体は12月末、法人経営体は事業年度の開始前までです。

加入申請時に青色申告の実績が1年分あれば加入できます

この機会にぜひご加入をご検討ください。

加入受付、問い合わせは、お近くの農業共済組合へ！

加入・支払等のスケジュール



※ 保険料・積立金は分割支払も可 (最終の納付期限は保険期間の8月末)  
※ 災害等により両金が必要な場合は、つなぎ融資 (前年分)

収入保険は  
様々なリスクから  
農業経営を  
守ります



農業経営の収入保険（農林水産省HP）  
<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/syunyuhoken/>



【お問合せ先】 九州農政局福岡県拠点地方参事官室  
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261 (代表)  
<http://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

